

早稲田大学 文学部 世界史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問9、小問46問、記述式14問・記号32問。2020年と2019年は小問は計44問、記述式11問・記号33だったので記述式が3問増加し記号は1問減少で小問総数は2問の増加であった。昨年消滅した小論文(90字)は復活しなかった。全体として双子の関係にある文化構想学部とよく似た構成であった。難易度は昨年と変わらず。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅰ〕	古代のメソポタミア	2020年「古代のヘブライ」・2019年「古代のシリア・パレスチナ」と似たテーマ設定。設問1. エ「シュメール」と設問2「サルゴン1世」は易しい。設問3. 「バビロン第一王朝」はエ「アムル人」の王朝。設問4. 正解はイ「中王国時代」(前21～前18世紀)。年代を全て記憶するのは不可能に近い。ここは新王国がヒッタイトと同時代であったことからその前のバビロン第一王朝は中王国と対応すると類推する。設問5. 正解は「スサ」。スサというとアケメネス朝の行政所在地を連想するが、前12世紀にはエラムの都でその王が戦利品として持ち帰った。	標準
〔Ⅱ〕	古代中国の紀年法	設問1. 正解はイ。『春秋』は魯の年代記。魯は孔子の出身地としても重要。設問2. 正解はエ。殷(前16～前11世紀)当時のギリシアはほぼミケーネ文明(前1600頃～前1200頃)にあたる。暗黒時代(前1200頃～前700頃)以前のギリシアには実在が確実な人物は皆無である。設問3. 正解はア。製塩が盛んだったのは山東の斉。設問4. 正解はエ。甘英が到達したのは条支国でシリアともイランのファールス地方ともされる。いずれにしてもローマ(大秦国)には達していない。設問5. 正解は「武帝」。	標準
〔Ⅲ〕	中世後半のヨーロッパ	昨年の大問Ⅳ「ヨーロッパ中世都市の展開」と似たテーマ設定。設問1. 正解はロ「ヴェネツィア」。設問2. 正解はハ。マルコ＝ポーロは父と叔父に伴われてフビライ＝ハンのもとを訪れた。設問3. 正解は「ブランデンブルク」。高校世界史では「辺境伯」と連想されるのはブランデンブルクだけ。のちのプロイセンの起源の一つ(もう一つはドイツ騎士団領)としても重要。設問4. 正解はロ。「黒死病」といえばボッカチオの『デカメロン』は定番。新型コロナ蔓延の影響で書店の棚に目立つようになったのは記憶に新しい。設問5. 正解はイ。下線部の「この時期(14世紀半ば)」に注意。ロの「ワルド派」は12世紀、ハの「カタリ派」は12～13世紀。ニの「ルター」は論外。設問6. 「ジャックリー」は易しい。	標準
〔Ⅳ〕	大航海時代と中国	設問1. 正解はイ「カリカット」。基礎中の基礎。「カルカッタ」との語群の抱き合わせもふた昔前の高校中間試験レベル。設問2. 正解はウ「王直」。倭寇の頭目として日本史ではしばらく前から頻出。設問3. 「典礼問題」、設問4. 「徐光啓」、設問5. アの『崇禎暦書』は易しい。設問6. 正解はエの「フェルビースト」。ウの「アダム＝シャル」も中国で西洋式の大砲を鑄造しているがその提供先は明朝。カトリック・プロテスタントに関わらず宣教師はアジア諸国の権力者に大砲を提供した。	易

番号	出題内容	コメント	難易度
[V]	宗教改革時代のヨーロッパ	設問1. 正解はニ。「領邦教会制」はドイツのルター派諸侯が押し進めた。設問2. 正解はロのシャルル9世。サンバルテルミの虐殺(1572)関係ではシャルル9世の母カトリーヌ＝ド＝メディシス、直接手を下したギーズ公アンリ、九死に一生を得たブルボン家のアンリ(のちのアンリ4世)とおさえておくべき人物が多い。設問3. 正解は「ヴァロワ朝」。設問4. 正解はハ。「ケベック」はアンリ4世時代の建設だが「ルイジアナ」はルイ14世時代。設問5. 「1555年」は易しい。設問6. 正解はエ。ウェストファリア条約(1648)で「西ポンメルン」を獲得したのはスウェーデン。東ポンメルンはブランデンブルク＝プロイセンが獲得。東西ともウィーン会議(1814～15)でプロイセン領となった。設問7. 正解はイ。スペイン継承戦争(1701～13(14))の講和条約はユトレヒト条約(1713)とラシュタット条約(1714)。アーヘン条約(1668/1748)は1668年の条約は南ネーデルラント継承戦争(フランドル戦争)(1667～68)、1748年のものはオーストリア継承戦争(1740～48)の講和。	易
[VI]	ビスマルク体制の変遷	設問1. 正解はハ。イの「黒旗軍」を組織したのは劉永福。ロの望厦条約(1843)は対米条約。仏は黄埔条約が正しい。ニの「フランス社会党」(1905年成立)にはサンディカリズムの影響の強かった労働総同盟は不参加であった。設問2. 正解はイの「ヴェネツィア」。三帝同盟(1873)成立当時のヴェネツィアはイタリア王国領(1866年に併合)。ヘルシンキ(フィンランド)とワルシャワ(ポーランド)はロシア、プラハ(チェコ)はオーストリア＝ハンガリーの支配下。正解はイ。第一次アフガン戦争開始(1838)→アイグン条約(1858)→アラスカ売却(1867)→露仏同盟(1891～94)の順。第一次アフガン戦争(1838～42)の年代を知らないと厳しい。設問4. 正解はロ。イの「ブルガリア」は「オスマン帝国の自治国」が正しい。「ロシアの保護下」はサン＝ステファノ条約。ハのイギリスが行政権を獲得したのは「キプロス」。ニの「オーストリアがボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合」は1908年10月6日。前日にブルガリアが完全独立と東ルメリア併合を宣言。設問5. 正解は「アドワ」。この勝利によってエチオピアはアフリカで事実上唯一の独立を維持することに成功した。設問6. 正解はニ。イの「社会主義者鎮圧法制定(1878)はビスマルク時代。廃止(1890)はビスマルク退陣直後。ロのアフリカ植民地獲得はヴィルヘルム1世時代。ハ: ヴィルヘルム2世は退位後すぐにオランダに亡命。細かい内容ではあるが用語集の説明文には記載がある。設問7. 正解はハ。問題文の「1900年代から1910年代」に注意。イは三国干渉(1875)、ロの「奉天」は「青島」の誤り。ニは「極東に兵力をさく余力ができた」が誤り。	標準
[VII]	第二次世界大戦と米英関係	設問1. 正解はニ。チャーチルは1951年から55年まで首相をつとめた。英が最初の核実験(オーストラリア)で行った(1952)のは彼が首相のときである。設問2. 正解はロ。ハ「朝鮮戦争(1950～53)」→ニ「スエズ戦争(1956)」→ロ「湾岸戦争(1991)」→イ「イラク戦争(2003)」の順。設問3. 正解はイ。ロ「大西洋上会談」(1941.8)→イ「カイロ会談(1943.11)」→ニ「ヤルタ会談」(1945.2)→ハ「ポツダム会談」(1945.7)の順。設問4. 正解は「ダンバートン＝オークス」、設問5. 正解は「ブレトン＝ウッズ」、設問6. 「国際復興開発銀行」(「世界銀行」でも可)はどれも易しい。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
[Ⅷ]	ハギア(セント)=ソフィア 聖堂関係史	正解は「ミナレット」。	易
[Ⅸ]	中世の大聖堂	Ⅸと続いた感のある大問。設問1. 正解はdの「ゴシック」。設問2. 正解はb。bは「泣く女」。ピカソといえば「ゲルニカ」ばかり出題されてきたので意外性はあるがその作風から想像しても容易に選択できる。aはゴッホ(後期印象派)の「ヒマワリ」、cはマティス(野獣派(フォーヴィズム))の「イカロス」、dはアンディ=ウォーホル(ポップアート)の「マリリン=モンロー」。設問3. 正解はaの「潜在意識を表現」。bの「調和と形式美」は19世紀初めの古典主義に該当。cとdは「フロイト」の誤り。	易

[総合コメント]

現在の早大文学部は文化構想学部とはいわば双子の関係で、かつての第一文学部と第二文学部を再編して生まれた。そのため入試傾向も非常に似ていて早大の他学部と比べると驚くほど簡単な問題が出されていた。しかし、近年難化傾向が続いてようやく着くところについての感がある。出題形式こそ酷似しているが、細かい歴史的事実を問う設問は文学部に目立つようになった。年代配列もある程度年代を知らないと厳しいものがある。手ごわい年代配列問題は社会科学部に目立つので演習がわりにこなしておくといトレーニングになる。細かい出題では『用語集』の説明文レベルのポイントが目立つ。そうした設問は配点自体は大きくはないが、簡単な問題では差がつかないことを踏まえると、そこで得点できるか否かが合否を分ける場合がかなりあると考えなくてはならない。教科書は当然のこと、『用語集』は徹底的に読み込んでおくべきである。美術史の図版問題は、直接その作品を知っているかどうかという問から、その作風を見分ける力を問うものにかわりつつある。教科書レベルの作家の作品はできるだけ多く参照しておきたい。